

安全衛生環境情報

アイ・シー・ティー 株式会社

作成 衛生管理者 小林

令和7年 10 月 ICT 重点災害防止活動項目

1. 感染症予防対策月間(継続)

- 1) 密閉空間・密集場所・密接場面が重なる状況を避ける
- 2) 十分な睡眠と規則正しい食生活で、免疫力を高める
- 3) 外出後の手洗い・うがいの実施、こまめな部屋の換気と十分な湿度の保持をおこなう
- 4) コロナワクチン定期接種は、高齢者、基礎疾患のある人については接種を推奨する

2. 転倒予防の日 (10 月 10 日)

10 月 10 日は日本転倒予防学会が制定する「転倒予防の日」です。

家の中や家の周りで、つまずいたり滑ったりして転びそうになったことはありますか？

転倒は骨折・頭部外傷などの大きなケガにつながりやすく、たった一度の転倒から寝たきりになることもあります。また、高齢者の「転倒・転落・墜落」による死亡者数は「交通事故」による死亡者数の約4倍に上るとの調査結果が発表され、事故を防ぐためにも生活環境をチェックして、転倒の原因を減らしましょう。

転倒を予防する方法（高齢者の転倒は対策をしっかりとすることで回避できる可能性が高まります）

1. つまずきやすいポイントをみつけて改善する（わずかな段差、濡れた床、置いてある物等）
2. 無理なく体を動かす習慣を作る
3. バランスのよい食事を心がける

3. 薬と健康の週間 (10 月 17 日～10 月 23 日)

1949 年（昭和 24 年）に「全国薬学週間」が開催されたことを契機として、1978 年（昭和 53 年）から「薬祖神祭の日」である 10 月 17 日を初日とする 1 週間を、「薬と健康の週間」とし活動して、厚生労働省、都道府県、日本薬剤師会が実施している一斉行動です。

医薬品を正しく使用することの大切さ、そのために薬剤師が果たす役割の大切さを一人でも多くの方に知って頂くために、毎年 10 月 17 日～23 日の一週間、ポスターを用いた広報や、地域住民に向けたイベントなどの積極的な啓発活動を通じ、国民の保健衛生の維持向上に寄与することを目的としています。

今月の安全衛生 社内自主 テーマ

- ◎感染症予防継続（コロナウィルス及びインフルエンザワクチン接種は、高齢者及び基礎疾患者においては接種を推奨する）
- ◎健康強調月間に伴い、ウォーキング・ストレッチ・背伸び・反り・踵上げ・膝かかえ・体の横曲げ・スクワット等、その場で手軽にできる運動をするように心掛ける

今年度の行動指針

「慣れと油断は気の緩み ルールを守り 安全確認」

「毎日が 新たな決意と実行で 感染予防 健康職場」

ご安全に！